

第4回 日本一学生が活躍するまちづくり ワークショップ

日時：2025.6.18（水）18：00～19：30

場所：山口大学常盤キャンパス「志」イノベーション道場

宇部市は、令和7年度から学生の感性と行動力をまちづくりに反映させて“若者に選ばれるまち”を目指す「日本一学生が活躍するまちづくり」事業を開始しました。学生の視点・発案をまちづくりに反映させる仕組みを構築・実践するためのワークショップには、公募により選ばれた市内外の大学生約40人が参加しています。



《ゲストトーク》 株式会社山口銀行 専務執行役員山口支店長 小池 政弘 氏 「志を以て万事の源と為す」

第4回目は、株式会社山口銀行の小池政弘 専務執行役員をゲストスピーカーにお迎えし、「地域経済の先行きと宇部市が歩むべき道筋」をテーマに講演していただきました。

小池専務は「久しぶりに足を踏み入れる大学という場所には、やはり凜とした空気が漂っている」として、学業に専念できる学生生活の価値を伝えました。

また、広島銀行退職後の山口銀行 山口支店長への就任については、「驚いた」と話しながら、「失敗や後悔もしてきた。それを踏まえて改善に取り組もうという気持ちで取り組んでいる」と語りました。

さらに、本事業に参加する学生に対して、山口ゆかりの幕末の思想家、吉田松陰の「すべての実践は志を立てることから始まる」という考えを紹介し、「ワークショップへの参加

は必ずしも短期的に大きな経済効果を生まないかもしれない。しかし長い目で見れば、確実に皆さんと地域の成長につながる。頑張ってもらいたい。」とメッセージを送りました。



講演の後、参加する学生は、第3回目に引き続き、身の回りの社会課題を共有しながら、10月の政策提案に向けてチームづくりを始めました。「コンテンツが豊富な宇部市の特性を活かしたい」「中心市街地を活性化する学生による組織が必要だ」「過疎地で暮らす高齢者の生活を地域の若者がデジタルなどを活用して見守る政策・制度が求められている」などの意見によって約10チームに分かれ、篠崎市長も加わり協議を行いました。今後は、チームでさらに議論を深めながら、必要に応じて、市の担当部署とも意見を交換し、具体的な政策を練っていく予定です。

次回(6/25)は特別回として、千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センターの吉村健佑センター長、NTTコミュニケーションズ株式会社の櫻井陽一郎部長をゲストスピーカーにお迎えし、「劇的に変わる時代でどう行動するか」等をテーマに講演していただきます。